

大阪府中小企業団体中央会

# 大阪府内地場産業の景況について

## ～平成23年度第2四半期(平成23年7月～9月)～

本会では、府内地場産業の経営実態、経営動向などを把握し、支援活動を一層効果あるものとするため、18年度より「府内地場産業景況調査」を実施しております。このたび平成23年度第2四半期の調査結果がまとまりましたので、報告します。

### ■大阪の地場産業（大阪府ホームページより抜粋）

大阪の地場産業は、地域の特性や歴史的背景をもとに、多種多様な業種がバランスよく集積した産業群として、中小企業のまち大阪の活力ある発展に寄与してきました。府内には、63業種にのぼる地場産業があり、その種類は次のとおりです。

- 繊維化学** くつ下、作業手袋、敷物、紳士既製服、石けん・洗剤、タオル、注染和晒、塗料、撚糸、婦人子供服、布帛縫製品、帽子、紡績、丸編ニット、綿スフ織物、毛布、横編ニット、石綿製品
- 機械金属** 家庭用ミシン・同部品、金網、加熱鋏螺、金属熱処理、建築金物、鋼索（ワイヤーロープ）、自転車・同部品、作業工具、製線鋏螺、繊維機械・同部品、鋳鉄鑄物、鍛工品、鉄管継手、農業用機械、普通線材製品、ベアリング
- 生活用品** 印刷、貝細工、かばん、ガラス製品、革靴、眼鏡類、玩具、木ブラシ、紙器、育児乗物、事務用紙製品、人造真珠、線香、製本、竹すだれ、段ボール箱、木櫛、妻楊枝、歯ブラシ、刃物、普通合板、ケミカルサンダル、ほうろう鉄器、ボタン、袋物、魔法瓶、木製家具、鏡、洋傘

調査・研究

<調査目的> 府内地場産業の動向、経営上の問題点等を把握し、的確な支援活動を行うため、四半期毎に郵送またはFAXによるアンケート調査として実施

<調査対象> 府内地場産業39組合・団体

<調査時点> 平成23年10月1日

<概要>

### 地場産業主要3指標

平成23年7～9月期の府内地場産業の景況は、機械金属関連業種で改善するも、繊維化学関連業種、生活用品業種でも悪化。





































- \* 「業界の景況」は、前期より8ポイント悪化しDI（-）57。
- \* 「収益」は、前期より4ポイント改善しDI（-）43。
- \* 「売上高」は、前期より1ポイント改善しDII（-）29。

### 経営上の問題点

全業種で需要の低迷に加え、原材料価格が上昇し、円高により価格競争が激化している。東日本大震災の影響による需要の減少も報告されており、今後の動向が危惧され、大阪の地場産業は引き続き厳しい状況となっている。

- \* 繊維化学関連業種 ～需要の低迷に加え原材料価格が上昇～
- \* 機械金属関連業種 ～需要の低迷に加え原材料価格が上昇～
- \* 生活用品関連業種 ～需要の低迷に加え：原材料価格上昇～

## 地場産業DI値（第2四半期）

平成23年 7～9月期	全産業 前年同月比	繊維化学 前年同月比	機械金属 前年同月比	生活用品 前年同月比	30以上 快晴
売上高	 △29	 △64	 40	 △44	30以上 快晴
在庫数量	 △ 8	 △ 9	 △20	 0	10～29 晴れ
販売価格	 △35	 △36	 △20	 △35	9～△9 うすくもり
取引条件	 △41	 △55	 △30	 △41	△10～△29 くもり
収益状況	 △43	 △64	 0	 △43	△30～△49 雨
資金繰り	 △34	 △55	 10	 △34	△50以上 大雨
設備操業度	 △26	 △64	 10	 △26	
雇用人員	 △25	 △36	 0	 △25	
業界の景況	 △57	 △73	 △10	 △57	

天気図の見方…各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または悪化）業種割合を引いた値をもとに作成。その基準は右記のとおりです。ただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方向に表しています。

## 今期の状況

今期（平成23年7月～9月期）の全地場産業の主要3指標は、「業界の景況」DIが（-）57と、前期4～7月期）に比べ8ポイント悪化し、「売上高」DIは1ポイント改善し（-）29、「収益状況」DIも1ポイント改善し（-）29となった。

平成21年度を底に回復していたが、原材料高や円高に加え、3月11日発生した東日本大震災の影響が出始め、特に原発問題に端を発する電力問題が今後、関西地区にも大きな影響を及ぼすものと予想され、中小企業だけでなく日本経済への波及が深刻化するものと懸念される。

業種別では、繊維化学の前期比は、「収益状況」は3ポ

イント改善し（-）64だったものの、「売上高」は（-）64と8ポイントの悪化を示し、「業界の景況」については6ポイント改善し（-）71と悪化した状況である。

一方、機械金属のDIは、「売上高」が前月比11ポイント改善し（-）44、「収益状況」も前月比と6ポイント改善し（-）55となり、「業界の景況」は前月比と同様に（-）55となっており、生活用品では、「売上高」が前期より11ポイント改善され（-）44、「収益状況」も前期より6ポイント改善され（-）55となり、「業界の景況」は10ポイント下げ、（-）72となり厳しい状況となってきた。

## 平成23年7～9月期 経営上の問題点（全地場産業3位まで選択）

府内地場産業の直面する経営上の問題点では、1位が「需要の低迷」に、「原材料価格の上昇」が追い討ちをかけ、「販売価格の低下」と「価格競争の激化」を招いている状況となっている。

また、業種別で見ると繊維化学では、東日本大震災以

降の消費の手控えによる「原材料価格の上昇」に、「需要の低迷」と「価格競争の激化」が追い討ちをかけている。

機械金属では、数字は戻しているものの「需要の低迷」に、「原材料価格の上昇」が回答され、「販売価格の低下」が続いている。

生活用品でもほとんどの業種で「原材料価格の上昇」  
 によって「需要の低迷」が続き、「販売価格の低下」を招  
 いており、経営環境の厳しさが増している。

(%)

	項目	順位		
		1位	2位	3位
一般経営問題	価格競争の激化	11.4	13.3	20.0
	新規参入の増加			
	大企業の進出			
	取引先の倒産・廃業	2.9	3.3	
	需要の低迷	28.6	20.0	24.0
	ニーズ変化への対応難	5.7	3.3	4.0
	取引条件の悪化		10.0	9.1
	円高	8.6	3.3	8.0
設備	設備の老朽・不足			
	過剰設備			
価格	原材料価格の上昇	28.6	16.7	16.0
	販売価格の低下	11.4	10.0	16.0
在庫	在庫の増加・過剰		6.7	
金融	債務の過剰		10.0	
	事業資金の借入難			
労働関係	人件費の増加			
	従業員の確保難		3.3	
	従業員の過剰			4.0
	事業承継難		6.7	4.0
	技能承継難			3.4
	その他	2.9		4.0

調査・研究

## 業種別経営上の問題点

## \* 繊維化学関連業種

～需要の低迷に加え原材料価格が上昇～

## 【需要の低迷】

## 石けん・洗剤製造業

8月中旬より天候不順により消費が低迷し、今後は高付加価値商品の存在、特徴を消費者に認知を促進して、購買につなげる努力が必要。

## タオル製造業

綿糸価格が下降気味であり、販売価格の低下が懸念される。

## 毛布製造業

元々需要が低迷していたが、震災後さらに受注が減少している。

## 塗料製造業

中東情勢等の影響により原油価格が値上がりし、原材料価格が上昇している。

## \* 機械金属関連業種

～需要の低迷に加え原材料価格が上昇～

### 【価格競争の激化】

#### 繊維機械・同部品製造業

円高による価格競争に直面している。

#### 建築金網製造業

販売価格が抑えられ、厳しい状況である。

### 【原材料価格の上昇】

#### 鋳鉄鋳物製造業

鋳鉄等、原材料、副資材価格の上昇。

#### 鋳造業

原材料、副資材価格が上昇。

#### 線香製造業

原材料自体が少なくなり、値上がり傾向。原材料価格、人件費アップのため利益率低下。

### 【需要の低迷】

#### 金網製造業

震災の影響による生産拠点の見直しによって国内生産は今以上に減少。

#### 鉄管継手製造業

前年同期に対して、わずかに増加でとどまっている。

#### 農業用機械製造業

売上高は昨年に引続き減少傾向にある。

### 【販売価格の低下】

#### 建築金物製造業

若干の売上増があるが、販売価格が抑えられており、厳しい状況にある

## \* 生活用品関連業種

～需要の低迷による価格競争の激化～

### 【価格競争の激化】

#### 線香製造業

原材料自体が少なくなり、値上げ傾向。

### 【需要の低迷】

#### 印刷業

印刷関連資材が値上がり傾向。

### 【原材料価格の上昇】

#### 鞆製造業

原材料価格の上昇、人件費アップのため、利益率低下。

#### 紙・段ボール箱製造

原材料、仕入れ価格が高騰しているが、商品に転嫁できない状態である。

## 特記事項

#### タオル製造業

国産品の推奨。

#### 硝子製品製造業

コストの安い輸入製品に加え、新規開拓代替品出回り、中小企業は新規事業に追いつかず苦慮している。

#### 農業用機械製造業

TPP参加の条件として農業を例外として適用外とすることを要望する。

#### 魔法瓶製造業

ガラス製魔法

前期比 国内 161% 輸出 78% 計 88%

ステンレス製魔法瓶

前期比 国内 98% 輸出 112% 計 98%

合計 国内 100% 輸出 81% 計 96%

※国内販売の大幅な増加は東日本大震災の特需によるもの。

※輸出は超円高の影響によるもの。